他にもお役立ち情報満載　使い方動画もUP!



授業と学校図書館

学校図書館を授業に効果的に活用している教員に、その秘訣をインタビューまたは記事を依頼して紹介しています。

学校図書館の日常

よみきかせ、ブックトーク、展示、お薦めの一冊、日々のレファレンスへの回答などを、毎月トピックと共にお伝えしています。

テーマ別ブックリスト

学校図書館の強みは、多様な資料・情報を児童・生徒に提供できることです。様々な実践で提供したブックリストを集めています。ぜひ事前教材研究にも役立てください。（現在、テーマの五十音順）

情報リテラシー教育　（21世紀を生きるための学習）

情報を探し出す力、読み取る力、読み解く力、比較する力、正しい情報かどうか見分ける力、必要な情報かどうか判断する力、まとめる力、情報マナー、発表する力、意見交換する力、それらの力を育むための実践を紹介します。

（トップ画面）



先生のための授業に役立つ学校図書館活用データベース

http://www.u-gakugei.ac.jp/~schoolib/htdocs

発行　東京学芸大学　学校図書館運営専門委員会

〒184-8501　東京都小金井市貫井北町 4-1-1

Mail：　schoolib@u-gakugei.ac.jp

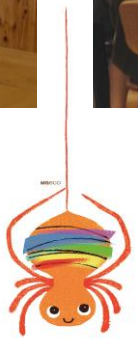
先生のための授業に役立つ

学校図書館活用データベース

学校図書館を使うと授業が変わる！







幼・小・中・高・特別支援での多様な教科の

図書館を活用した授業実践を見ることができるサイトです。

ー東京学芸大学　学校図書館運営専門委員会ー

＜平成28年度文部科学省事業
「学校司書の資格・養成の在り方や資質能力の向上等に関する調査研究」受託＞

学校図書館を使って授業をしませんか！？

自分で読める・自分で探せる・自分で学べる子を育てます。

次のような附属の授業をはじめ、読書活動も含めた 256 の実践事例を見ることができます。(2016 年 5 月現在)

事例 No. A0237　　小学校　3 年生　総合　おさかなミュージアムをつくろう



授業者　東京学芸大学附属世田谷小学校　居城勝彦

水族館への遠足をきっかけにして持った水辺の生き物への関心をいかし、学校図書館で資料を探し、紹介し合うことを楽しむ活動です。他教科で取り組んだ作品や遠足発表会でのプレゼン資料を持ち込み、クラス全員で学校図書館を「おさかなミュージアム」にしました。キーワード　魚　絵本　物語

事例 No. A0236　　中学校　3 年生　国語　「批評」を考える



授業者　東京学芸大学附属世田谷中学校　渡邉　裕

学習を他の事柄と結びつけ、活用していくためにはどのようなことができるのか。「批評」という観点を導入し、「万葉集」について調べることで内容的な充実をはかるとともに、方法的な高まりにつなげられればと考えました。

キーワード　万葉集・批評文・情報活用

・アクセスはこちらから　　http://www.u-gakugei.ac.jp/~schoolib/htdocs



実践事例はこのような内容です。 事例は皆さまから広く募集しています。

管理番号	
校種	中高一貫校
教科・領域等	社会
単元	わかりやすく伝えよう
対象（可能）学年	中2
支援の種類	資料提供　学習支援
図書館とのかかわり（レファレンスを含む）	東京都内に残る江戸の痕跡を探すために、東京都内の歴史に関わる書籍や、「江戸名所」などの書籍を用意・展示してほしい。また、生徒の疑問によって、書籍を紹介してほしい。
授業のねらい・協働にあたっての確認事項	生徒は、東京都内に残る江戸の痕跡を探すためのフィールドワークを計画・実施する。そのための事前調査をインターネットだけでなく、書籍を用いてさせたい。 また、フィールドワーク後、自分たちが見つけた江戸を学年の友達にプレゼンテーションするために、「なぜそこが江戸なのか」という裏付けを、資料でもさせたい。現在の東京に関する資料と、江戸に関する資料、特に地図や図版など視覚に訴えるもの、また江戸時代に出版されたものが紹介されている資料を用意してほしい。
提示資料	
	『江戸切絵図で歩く 広重の大江戸名所百景散歩』. 堀晃明著. 人文社. 1996 歌川広重が幕末に描いた『名所江戸百景』。その風景がどの角度から描かれたものなのか、『江戸切絵図』と現代地図を見開きに配して検証している。『名所江戸百景』のそれぞれの絵にも丁寧な解説がつけられている。
	『東京時代MAP　大江戸編』.松岡満著.光村推古書院.2005 江戸時代の地図と、現代の東京の地図の2つの地図を照らし合わせることが可能。江戸時代の地図の上に、現代の東京の地図が印刷された半透明のトレーシング・ペーパーを重ね、江戸と現在の東京の位置関係を知ることができる。
	『江戸東京　歴史の散歩道』.街の暮らし社編.街と暮らし社.2001~2003 東京23区内に残る歴史の名残を詳細地図と詳しい解説でつづっている。寺・神社・記念碑・城址・資料館など、江戸から東京にかけて様々な施設が掲載されており、実際に手にして現地に行くとより理解が深まる
参考資料（含HP）	
ブックリスト	江戸東京古地図関係本（中学生以上）.xls　エクセルファイルをダウンロードできます。
キーワード1	江戸
キーワード2	フィールドワーク
キーワード3	プレゼンテーション
授業者	愛甲修子（国語科）・藤木正史（社会科）
授業計画・指導案等	日本文化探訪.pdf　指導案・指導計画・ワークシート等がPDFファイルでダウンロードできます。
授業者コメント	現代、生徒たちは調べると言えばインターネット、発表すると言えばパワーポイントといった具合である。しかし、現実とネット上の世界とは別物であり、またネット上の情報がすべて正しいとは限らない。その場に行ってこそ分かること、元になった資料を見てこそ分かることがあると気づかせたい。そのために、図書館の協力は欠かせない。キーワードを入力しなくても、江戸の世界が広がっている書籍、またその書籍が並んでいる図書館のスペースで、生徒は多くの発見をする。図書館を利用しての授業中はもちろんだが、放課後などを使っての自主学習の時間でも、学校司書の助言で、生徒はさまざまな資料に気づくことができた。 実際のプレゼンテーションでも、図書館から借りた本を提示し、「図書館にありますから、興味のある人は開いてみてください」と発表する生徒がいた。
司書・司書教諭コメント	公共図書館の団体貸し出しも受け、学校の蔵書とあわせ約150冊の資料を提供。東京の古地図が掲載された資料が多数あるなか、どの資料がより生徒に活用しやすいものか、社会科の教員の目でみてもらい、特にすすめる資料を3点上記に紹介している。 古地図に慣れるまでは、生徒も少々手間取っていたが、見慣れてくると自分たちが訪れる場所の掲載されている本を探しだし、フィールドワークや発表に活用しているようすがうかがえた。
情報提供校	東京学芸大学附属国際中等教育学校
事例作成日	2012年12月5日
事例作成者名	愛甲修子（国語科）・藤木正史（社会科）・渡辺有理子（司書）

実践事例の検索は、校種・教科を入れて検索するほか、学校名やキーワードでも検索できます。尚、一部の事例は、国立国会図書館のレファレンス協同データベースに転載しています。